

# 2021年度第74回高知県高等学校体育大会 登山競技の部

当番校 西・土佐・追手前・高知工

## 1. 大会役員

大会委員長 北村 (高知工業高等学校長)  
専門委員長 鎌倉  
運営委員 福永 池上 刈谷 佃 米澤  
都築 利岡 石川 松岡 金岡  
山本 森澤 宮本 永井 明神

大会顧問 麻田 (高知県山岳連盟会長)  
審査員長 利岡  
審査員 福永 石川 松岡 森澤 永井  
明神 鎌倉 米澤  
総務 永井 森澤 石川  
現地救護 佃 松岡  
支援 明神

登山隊長 鎌倉  
本隊 【男子A隊】 【女子B隊】  
C L 石川 利岡  
S L 森澤 永井  
隊中間担当 明神  
最後尾担当 松岡 佃 ※補助隊、現地救護は最後尾

## 2. 大会期日

令和3年5月22日(土)～23日(日)

## 3. 会場

野地峰・八方ブナ(土佐郡大川村)

## 4. 競技規定

審査は、『登山部報』全国高校登山大会成績評価実施要領「全国高等学校登山大会<審査基準と指導目標>」、「全国高等学校登山大会審査確認事例」等に基づき実施する。

## 5. 競技日程

5月22日(土)

9:00～9:15 受付(高知工業高校大会議室)  
9:15～9:30 運営打合せ後、審査員打合せ  
9:30～9:50 開会式  
10:00～11:00 審査(天気図・自然観察・救急知識・気象知識)  
11:00～11:55 昼食(会議室より退出。11:55集合完了)  
12:00～14:00 バス移動(高知市→大川村朝谷)  
14:10～14:40 審査委員会①  
14:45～15:10 入山式  
15:30～17:30 設営審査等  
18:00～19:30 審査委員会②

19:30～20:30 運営委員会①  
 20:30～20:50 監督・リーダー会  
 21:00 <消灯>

5月23日(日)

4:00 起床・朝食・トイレ  
 5:00 運営打合せ後、審査員打合せ  
 5:30 集合完了・開始通告、課題テスト返却、諸連絡  
 6:00 登山行動開始

【計画】 全区間メインザック行動 [登山行動想定約6時間 ( ) = 想定移動時間・休憩含まず]  
 自然王国・白滝の里— (30分) → 山村広場— (60分) → 野地峰— (50分) →  
 八方ブナー (50分) → 野地峰— (40分) → 山村広場— (30分) →  
 自然王国・白滝の里

11:45～12:30 白滝の里着、課題回収、審査委員会③、  
 運営委員会② (選手は待機、昼食)  
 12:45～13:45 課題返却確認、閉会式、諸連絡後バス乗車  
 15:45～ 高知工業高校着 (予定)

6. 参加資格

高知県高等学校体育大会一般要項に従う。

7. 参加制限

- (1) 各校男子1チーム、女子1チームとし、4名1チームであること。
- (2) 各チームの中で1名はリーダーであること。
- (3) 各チームに監督1名とする。

8. 表彰

男女各チーム共に3位までを表彰する。

9. 参加校・参加選手

【 男子 】

学校名	監督名	リーダー名	選手名
土佐	利岡	矢野	泉 佐竹 白川
追手前	松岡	久保	田上 山本 筒井
高知工	永井	川村	斧 南 岡村

【 女子 】

学校名	監督名	リーダー名	選手名
追手前	石川	前田	石川 小松 松尾
西	森澤	安部	戸田 川井 平井

【 補助員 】 (サポート・救護支援)

学校名	教員名	補助員名
西	森澤	太田 石丸 小川 松浦
高知工	明神	川村
追手前	石川 松岡	安岡 吉川 杉村 甲藤 堀本
土佐	鎌倉	山中

【 支援役員 】 (サポート・行動役員・審判員)

高知県山岳連盟	麻田 (現地視察) 福永 (読図審査・現地支援) 米澤 (天気図審査)
---------	---

【 救護員 】 (現地における緊急時の救命処置等)

高知県山岳連盟	佃 (隊付救護員として隊に同行)
---------	------------------



## 全国高等学校登山大会<審査基準と指導目標>

区分	審査項目	審査内容	指導目標	審査細目
I 行 動  (50点)	1 体 力 (40点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>その山行にふさわしい体力がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>持久力のある体力を持ち、山になれた歩行ができる。</li> <li>スタミナの配分を心得、安全・確実な登山を楽しむ余裕をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>持久力。</li> <li>スタミナの配分。</li> <li>リズム、スピード、バランス。</li> <li>チーム内、チーム間の適度な間隔。</li> </ul> <p>上記について留意し、定められたコースを登山し総合的に評価する。</p>
	2 歩行技術 (10点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全確実な歩行技術が身につけている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行バランス。</li> <li>適度な歩幅。</li> <li>スリップ、転倒をしない。</li> <li>走らない。</li> <li>リズムカルな歩行。</li> </ul>
II 生 活 技 術  (15点)	3 装 備 (5点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要品の所持。</li> <li>その数量と保安が適切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要品の所持とその数量が適切であり、合理的な収納、パッキングを行うことができる。</li> <li>身体保護のための適切な服装着用ができる。</li> </ul>	<p>(注) <u>アンダーライン</u>は個々に防水する携行品 (注) ○印はサブザック行動時に携行する装備品</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>共同携行品 テント一式 (フライを含む)、○ツェルト、炊事用具一式、コンロ、燃料、○救急装備、○ラジオ、○温度計、予備食、○修理具、○裁縫用具</li> <li>個人携行品 ○雨具 (上下)、○防寒具、<u>寝袋</u>、<u>着替一式</u>、○水筒、食器類、○細引、○<u>ヘッドランプ</u> (予備電池・電球を含めて)、○<u>計画書</u>、○<u>大会地図</u>、○磁石、○時計、○筆記具、○ナイフ、○呼笛、○<u>手袋</u>、○<u>マッチ</u>、○<u>ライター</u>、○非常食、○行動食、ザック、ザックカバー、○サブザック、○ (その他その山行に合った必需品)</li> <li>必要な救急装備の所持</li> <li>服装 登山大会服装規定に従う。 登山靴、帽子の着用。</li> <li>携行品の破損の有無</li> </ul>
	4 設営・撤収 (5点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>動作に無駄がなく、メンバーの連携と手順がよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テントの仕様を理解し、強度を損なわず、特性を活かした適切な扱いができる。</li> <li>安全に、かつ悪天時にも対応しうる適切な設営手順を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定時間内での設営、撤収。</li> <li>手順。</li> <li>ペグの位置、打ち込み、本数。</li> <li>張り綱の適正な張り方。</li> <li>設営中及び設営後のザック等の整理。</li> <li>撤収後の整地。</li> </ul>

	5 炊事 (5点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全や衛生に配慮している。</li> <li>食料計画が適切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食料計画は栄養的知識に基づいた献立と調理法を理解し、行動計画に適合して工夫と応用ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンロの正しい使い方。</li> <li>安全への配慮。</li> <li>燃料の量及び管理。</li> <li>食料計画と実際の一致。</li> <li>衛生的な調理。</li> </ul>
III 知 識  (20点)	6 天気図 (4点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>天気図の作成・解析、天気予報ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象に関する基礎的知識を持ち、天気図の作成と解析、天気予報ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地点の気象。</li> <li>放送等圧線。</li> <li>等圧線。</li> <li>高気圧、低気圧、前線。</li> <li>解析・予報。</li> </ul>
	7 課題テスト (1)自然観察 課題テスト (4点) (2)救急知識 課題テスト (4点) (3)気象知識 課題テスト (4点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>登山に臨むうえでの基礎的な知識を有する。</li> <li>会場となる山域についての基礎的な知識を有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>状況に応じた適切な対応をとれるよう、実践的な知識を習得する。</li> <li>対象となる山域について研究し、必要な知識を身につけて登山に臨む。</li> </ul>	<p>(1)(2)(3)共通課題として、予報第1号より、大会山域に関する基礎的な知識を問う。</p> <p>このほか、各課題テストでは次の内容で出題を行う。</p> <p>(1)登山を行う上での一般的な知識。</p> <p>(2)実地に対応できる基礎的救急処置の知識。</p> <p>(3)天気図等の情報の活用、観天望気を行うための基礎的な知識。</p>
	8 計画書 (2点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>登山計画書の記載が適切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登山計画書の必須事項を適正に記載する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メンバー表（氏名、生年月日、住所、保護者、電話）、緊急連絡先（留守本部、大会本部）、日程表、荒天対策、概念図、断面図、装備表（共同、個人分担表、重量）、食料計画（献立、カロリー、分担、重量、予備食、行動食、非常食）、救急装備表。</li> </ul>
	9 行動記録 (2点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動記録の記載が適切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事後に役立つ行動記録の記載をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主要地点の出発・到着時間、または通過時間、天気、コースの概況、自然観察（植生含む）、体調の記入。</li> </ul>
IV 読図技術 (10点)	10 読図技術 (10点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>コース上の定点の位置が、地形図上で特定できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読図・地形の観察が現地ですぐにできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読図による地点確認。</li> </ul>

V マナー・自然保護 (5点)	11 マナー・自然保護 (5点)	・自然保護をわきまえ、マナー全般がよい。	・自然保護をわきまえ、マナー全般にわたり良く、他の登山者への気配りができる。	・時間の厳守。 (出発・集合・起床・就寝) ・休憩時のザック位置の配慮、マナー。 ・歩行中のマナー。 ・自然保護への配慮。 ・幕営地におけるマナー。 ・指示の遵守
-----------------------	------------------------	----------------------	--	---

(平成2年7月31日改正、4年8月・7年8月・11年8月一部改訂、13年8月修正確認、14年8月一部改訂、16年8月一部改訂、18年8月一部改訂、20年8月一部改訂、22年11月一部改訂、27年11月改正、平成30年11月一部改訂)

**【参考】 これまでの県体における審査の一例**

- ① 装 備 8品目(医薬品含む)×0.5点 その他2項目(パッキング、服装)×0.5点
- ② 設 営 設営撤収時5項目×0.3点 完成時7項目×0.5点
- ③ 炊 事 5項目×1点
- ④ 天 気 図 4点
- ⑤ 気象知識 4点(気象2点+共通2点)
- ⑥ 自然観察 4点(自然2点+共通2点)
- ⑦ 救急知識 4点(救急2点+共通2点)
- ⑧ 読図技術 定点10点(2日目:9か所×1.0点 3日目:2か所×0.5点など。2日目に10か所×1.0点、2日目に10か所×0.8、3日目に5か所×0.4など、大会により実施形態は変化)
- ⑨ 計画記録 それぞれ2点(10項目×0.2点 又は 5項目×0.4点)
- ⑩ マナー等 全体的に確認し減点。大きくモラルに反するものは、該当事項を-1.0点とする場合もあり。
- ⑪ 体力歩行 審査確認事例に基づき、選手の状況を審査。別途、事前に観点を連絡し、審査する時もあり。

※注意 新型コロナウイルス対策として上記②、③、⑪については次のとおり大会を開催する。また、該当審査基準で別途にコロナ禍版の評価観点を定めたり、⑨や⑩などの他の審査基準で評価することもある。

② 設 営

A 幕営地において設営審査実施する。ただし、速やかに撤収し体育館での分散泊へ切り替える。

③ 炊 事

- A 各自で個別の食材を調理(湯せん、湯を加える等)することを原則とする。
- B 感染予防のため、フリーズドライ製品やレトルト食品が中心のメニューとなっても良い。
- C 調理前に手洗い、アルコールによる消毒を実施し、調理中はマスクの着用を徹底する。
- D 食事前には手洗い、手指消毒を行う。
- E 食事の際は、対面にならないように一方向を向き、一定の間隔をあけて食べる。
- F 食事は黙食にて行うことを原則とする。会話が必要な時には必ずマスクを着用して会話する。

⑪ 体力歩行

- A 登山行動中はマスクを外してもよいが、チーム内で会話する場合はマスクを着用する。
- B チーム間やチーム内の間隔をとりながら行動するため、審査基準を別途通知する。  
例: チーム内のメンバーの間隔が3m以上開くことは減点対象となるが、密接して歩行することは避ける。